



読者のためのページです。

酪農関係のご質問、ご感想、本誌に
対するご意見など、どしどしお寄せ下
さい。

また、経営の概要、試作試験、ロー
カルニュースなどもお知らせ下さい。
この分の掲載には薄謝を呈します。

先日、友人から貴誌「牧草と園芸」数冊
を紹介され、興味深く拝見いたしました。

飼料作物の栽培技術や新しい品種の解
説、酪農経営の諸問題など私達酪農家にと
って直ちに役立つ、そして身近な問題を懇
切に指導してあり、全く感服した次第で
す。表紙裏の育成選抜品種の解説や一月号
グラビヤ頁に掲載した各品種の解説など非
常に役立ちました。ただ欲を言えば、もう
少し頁数がほしいところですが。

私も「雪たね同友会」に入会いたした
く、本日会費をお送りいたしましたので、
宜しくご指導のほどお願いいたします。

酪農経営改善云々と叫ばれている今日、
まだまだ改善の余地が数多く残されてお
り、私達も経営内容を更に究明していかな
ければならないと痛感しております。最後
に、貴誌のご発展をお祈り申し上げます。

(北海道帯広市・沢野勝彦)

長らく御無沙汰いたしております。

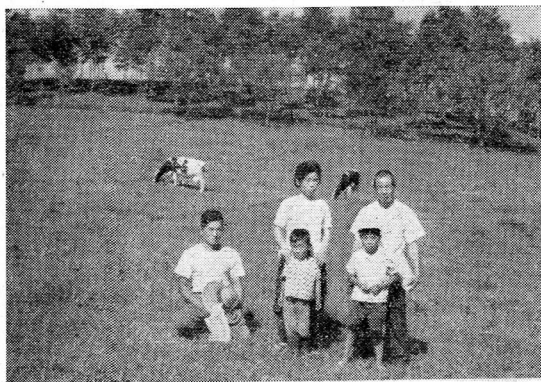
私達もお蔭様で、仕事もようやく軌道に
のり、計画の第二段階に入りました。

現在、搾乳牛七頭、育成牛二頭（今春分



第1図

貴社より御意送頂いた試作用ポンキン種子を使
ったものです。ポンキンの中ヘテントコソンの
青刈りをやりました。



第2図

放牧地の中で撮したものです。

酪農開始前は普通畑でしたが、その後、クロバ
ー、オトチャード、フェスタク類など播種、今は一
般放牧用に供しています。施肥には、十分注意
を払い、石灰、糞尿により、土地の肥沃化を計
っております。

娩予定)、犏牛二頭となり、昨年九月末
までの年間産乳量三万キロ、本年は四万キ
ロ生産を予定し飼料計画を樹てておりま
す。本年も貴社の保証種子を利用して
頂きたいと思っております。

(群馬県群馬郡箕郷町 清水謙親)



第3図

ナラ、クヌキ林を間伐し、一般放牧に利用して
おります。クロバークラスも長く伸びるようになり
ました。

導入草種は白クロバークラス、オトチャードグラス、レ
ッドトップ、レッドフェスタク、ケンタッキークラス
リユーグラス、ケンタッキークラス、フェスタク、イ
又麦です。

間伐は毎年続け、今年で四回目です。今冬の間
伐で、第二、三図に見られるよりも、更に日照
面がふえております。

優良牧草の導入と年中放牧により、不良野草は
殆ど消滅し、草種は非常に良くなりました。
生草量も増大しつつあり意を強くしている次第
です。

雪印が
お奨めする
育成選抜品種の解説

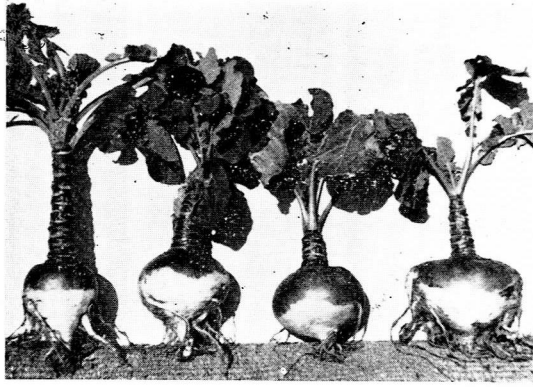
ルタバガ(ウイルヘルムスバーガー
スムーズラウンド)

(一) 選抜育成の目的

ルタバガは、寒冷地、高冷地の冬期貯蔵根菜として、家畜ビートについて重要な作物であるが、その耐病性(白腐病)且つ多収な品種を選抜育成しようとした。

(二) 選抜育成の経過

戦前より諸外国からの導入品種適応性検定試験を継続してきたが、昭和二十七年、



写真左からマゼスチック1号、ネムロルタバガ、スムーズラウンド、ウイルヘルムスバーガー

スエーデン産ウイルヘルムスバーガー(Wilhelms Burger 10-1)及びスムーズラウンド(Lourentian Smooth Round Yellow Purple Top)を優良品種として選定した。即ち、この二種は白腐病罹病率が少なく、根形良く、首も長くなく、多収を期待できることが認められた。

その後、二品種の母根を養成し、多数個体の中から、根形、根の大きさ、首、葉数、側芽などについて優良個体を選び、原々種を生産し、爾後、毎年母本選抜によって原種生産及び一般採種の過程を経ている。

(三) 特性概要

ウイルヘルムスバーガー

根色は緑で、普通「グリーントップ」と呼称され、肉色は黄、葉色は淡緑である。

根形は卵型なので表皮に裂目を生ずることが少なく、従って数多い品種の中で白腐病に最も強い特性を有している。且つ、グリーントップ系品種の一般的特色であるが、根瘤病罹病率も比較的低い。根部の個体重及び一〇日当たり収量は多い。

スムーズラウンド

根色は紫、肉色は黄、葉色は緑。

根形は球型で、分岐根(ヒゲ根)が少なく、その名の如く円滑である。従って抜き取りやすく、土の附着が少なく、家畜へ給与するのにも便利で労力を軽減できる。白腐病は少ない。但し、根瘤病罹病率が高く、個体はやや小粒である。

(四) 利用上の注意

a ルタバガは、冷涼な気候に適し、寒冷地、高冷地では根部成長が著しく、一年作とするが、温暖地では秋播き栽培を行う。

b 白腐病は高温な時期に発生し、温度と関係深い。そのほか、虫害、外傷によっても生じ、また酸性土壌では比較的発生が少ない。

c 根瘤病の多発地帯では、幼苗期に高温に遭わないように注意し、品種としてはウイルヘルムスバーガーがよい。
d 移植栽培にはスムーズラウンドが適する。

e 家畜ビートの欠株補播など、ルタバガは補播栽培にも用いる場合が多い。



収穫期のウイルヘルムスバーガー

ルタバガの品種特性概要表(上野幌育種場、抜萃昭37)

品種名	項 目		罹病率		首長	根周	根長	総重量	根重	比率
	根色	肉色	葉色	白腐病根瘤病						
ウイルヘルムスバーガー	緑	黄	淡緑	三%	三.六	四.九	六.三	五.〇〇	三.〇	二%
スムーズラウンド	紫	黄	濃緑	三%	三.三	四.九	六.三	四.〇〇	三.〇	二%
ネムロルタバガ	紫	黄	濃緑	三%	三.三	四.九	六.三	四.〇〇	三.〇	二%
マゼスチック1号	紫	黄	濃緑	三%	三.三	四.九	六.三	四.〇〇	三.〇	二%
バンダホルム	紫	黄	濃緑	三%	三.三	四.九	六.三	四.〇〇	三.〇	二%

註 1 播種五月二日 2 調査一〇月二六日 3 施肥量一〇日当、硫酸二五、過石二五、燐一〇、塩加一〇、堆肥二〇〇キ 4 栽植密度五〇×三〇キ